

子ども多文化共生センター通信 (テラたま通信)

Multicultural Children's Center News

発行元 子ども多文化共生センター (Tel. 0797-35-4537)

発行日 2015 (平成27) 年3月6日 (金)

ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/>

第54号



テラたま
(イメージキャラクター)

子ども多文化共生サポーターも活躍しました!

つどい ~阪神淡路震災20年・多文化共生をめざして~

阪神・淡路大震災から20年を迎え、県国際交流協会、県教育委員会、外国人を支援する団体等により、1月25日(日)に神戸中華同文学校(神戸市中央区)で開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、神戸中華同文学校生による勇壮な獅子舞に始まり、バケツリレーが盛り上がった「防災運動会」、多国籍料理が提供された「世界の炊き出し」、新成人が様々な民族衣装をまとった「国際成人式」、被災地支援の団体や県立舞子高校生等による東日本大震災被災地との絆をテーマとした「パネルディスカッション」、様々な国の音楽や舞踊を披露した「国際子ども音楽祭」、震災や多文化共生の取組を紹介したパネル展示などが催され、2000人にのぼる来場者が楽しみながら震災当事を振り返り、多文化共生について考える機会となりました。



「世界の炊き出し」では、子ども多文化共生サポーター有志による「おでん」「メジルメッキ チョルパス(トルコの豆のスープ)」が大盛況でした。ここではその活動をご紹介します。



「おでん」では食べる人の好みでナンプラーを加え、「メジルメッキ チョルパス」では熱々のスープにフランスパンを添えてくばるなど、誰にでも食べやすく温かい料理で参加者の心も体も温めました。調理に利用したかまどベンチは普段はベンチとして使いますが、災害時にはかまどとして使うことができます。今回は県立舞子高校からお借りしました。参加したサポーターからは「ベンチがすぐにかまどに変えられるのが便利」「火力が強く大量の炊き出しができる。」「被災した時、暖かな火がともることで安心する。」などの意見がありました。

おでんやスープの鍋の前には長蛇の列ができ、サポーターは汗をかきながら懸命に配膳してくれました。用意した各200食があっという間に配られ、参加者からは「おでんにナンプラーを加えると、また違った風味が出ておいしい。」「トルコのスープは初めて。レシピが知りたい。」「被災した時、温かな食べ物が嬉しかったことを思い出した。」などの感想が聞かれ、大好評のうちに終了しました。



かまどベンチ

「つどい」の詳細は、HIAのホームページでもご覧いただけます。

http://www.hyogo-ip.or.jp/comehia_blog/dsp_20150202.html



☆サポーターネット(子ども多文化共生サポーター交流会)を開催しました☆

平成26年12月14日(日)に青少年交流プラザ(県民会館内)にて、サポーター同士の交流と情報交換を目的とした第9回サポーターネットを開催しました。

11言語、34名のサポーターが集まり、2学期の活動を振り返って、日本語指導が必要な外国人児童生徒に対する学習支援や相談への対応など日々の支援における成果や課題について活発に意見を出し合いました。また、活用している資料や教材・書籍、外国人児童生徒が生き生きと日本での生活を送るために効果的であった支援の取組などについて情報交換を行いました。

出席者からは、「具体的な支援方法について話し合うことができて良かったです。3学期からの取組に活かしていきたいです。」「他のサポーターさんから教材教具の工夫や効果的な活用方法の情報を得られました。ぜひ自分の支援でも実践してみたいと思いました。」といった感想が聞かれました。



★図書紹介★

宇都宮大学HANDSプロジェクト発行

1月26日に宇都宮大学若林特任准教授が来所された際に、下記の書籍を寄贈いただきました。是非たくさんの方に活用していただけるようここにご紹介いたします。

○**教員手引書 『教員必携 外国につながる子どもの教育』**

SERIES 2011 教員必携「外国につながる子どもの教育 Q&A・翻訳資料」

☆学級担任の先生方が日頃感じている疑問点や初心者の方に苦労した質問(Q)を持ち寄り、それらに対する答(A)やチェックポイントが紹介されています。

SERIES 2012 教員必携「続 外国につながる子どもの教育～外国人児童生徒教育の原点とは何か～」

☆教員として外国に繋がる子どもに接する際の心構えや、専門的なスキルが無くても十分な支援ができることなどが記されています。

SERIES 2013 教員必携「外国につながる子どもの教育3 ～みんなで考える時がやってきた!～」

☆学校教育法施行規則の一部改正により平成26年度から施行される、日本語指導に関する「特別の教育課程を踏まえ、これからの外国につながる子どもの教育は全ての教員にとっての課題になることや周囲の児童生徒に与える影響などが記されています。

(※センター貸出資料に追加しています。)



Information

奨学金の募集案内

2015年度 定住外国人子ども奨学金(給付制高校進学奨学金)

○募集要項(日本語、韓国・朝鮮語、中国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、英語)は、次のHPからダウンロードできます。http://www.social-b.net/kfc/scholarship/syogakukin/2015_bosyu_j.pdf

○受付期間: 3月1日(日)～3月31日(火) 必着

○お問い合わせ: 定住外国人子ども奨学金実行委員会 TEL:078-612-2402

子ども多文化共生センター 芦屋市新浜町1-2 県立国際高等学校内

TEL: 0797-35-4537 FAX: 0797-35-4538 E-mail: mc-center@hyogo-c.ed.jp

ホームページから様々な情報を発信しています。http://www.hyogo-c.ed.jp/~mc-center/

外国人児童生徒の支援、子ども多文化共生教育に関わることなどについて、お気軽にご相談ください。

